

2023

京都伝統工芸大学校

授業計画書

目次

基礎加工実習Ⅰ（陶芸）	2
基礎加工実習Ⅱ（陶芸）	3
基礎加工実習Ⅰ（仏像彫刻）	4
基礎加工実習Ⅱ（仏像彫刻）	5
基礎加工実習Ⅰ（木彫刻）	6
基礎加工実習Ⅱ（木彫刻）	7
基礎加工実習Ⅰ（蒔絵）	8
基礎加工実習Ⅱ（蒔絵）	9
基礎加工実習Ⅰ（木工芸）	10
基礎加工実習Ⅱ（木工芸）	11
基礎加工実習Ⅰ（金属工芸）	12
基礎加工実習Ⅱ（金属工芸）	13
基礎加工実習Ⅰ（漆工芸）	14
基礎加工実習Ⅱ（漆工芸）	15
基礎加工実習Ⅰ（竹工芸）	16
基礎加工実習Ⅱ（竹工芸）	17
基礎加工実習Ⅰ（和紙工芸）	18
基礎加工実習Ⅱ（和紙工芸）	19
基礎加工実習Ⅰ（京手描友禅）	20
基礎加工実習Ⅱ（京手描友禅）	21

科目名	基礎加工実習 I (陶芸)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)								
担当教員	工藤良健 長澤久志 増田登志寿 土谷徹 水野恵									
担当教員の実務 経験歴	弟子入り、製陶所、陶房などを経て独立。各地で窯を開いている。 独立後 1 0 年以上製陶業に従事。伝統工芸士認定。									
授業概要										
土もみ、道具の作り方・使い方を学ぶ。煎茶碗等の制作。 下絵付の文様の描き方を紙の上で練習し、筆使いに慣れた後、実際に器に描く。										
到達目標										
ロクロ成形の基本と絵付の基本を習得する。										
授業計画										
	ロクロ				絵付け					
	土もみ	土殺し	土取り	小煎茶 碗	ろくろ 線 小 紋. 紙 上	小紋. 器	山水. 紙上	山水. 器	市松ダ ミ	小紋・ 山水ダ ミ
4 月										
5 月										
6 月										
7 月										
8 月										
9 月										
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100点 優 : 80~ 89点 良 : 70~ 79点 可 : 60~ 69点 不可: 0~ 59点										

科目名	基礎加工実習Ⅱ（陶芸）	1年後期 実習 225時間（5単位）					
担当教員	工藤良健 長澤久志 増田登志寿 土谷徹 水野恵						
担当教員の実務 経験歴	弟子入り、製陶所、陶房などを経て独立。各地で窯を開いている。 独立後10年以上製陶業に従事。伝統工芸士認定。						
授業概要							
(ロクロ) 湯呑み・皿・一輪ざしを制作する。 (絵付け) 松竹梅・網・雲錦を器に描く。							
到達目標							
成形に必要な手の動かし方や力加減などを身につける。 一応の基準に達した運筆ができる。							
授業計画							
	ロクロ			絵付け			
	湯呑	皿	一輪ざし	松竹梅	網	雲錦	運筆
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							
【テキスト】							
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。 秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：0～59点							

科目名	基礎加工実習 I (仏像彫刻)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)
担当教員	斎藤澄観 斎藤駿 長洲貴子 高石麻代	
担当教員の実務 経験歴	数十年の修行と実務経験を経て仏像の制作技術を修得した講師が指導にあたる。刃物の研ぎ方から段階を踏んで各学生が希望する立像・座像が制作できるようになる ところまで指導する。	
授業概要		
丸の花菱、直線の花菱、いなづま、いなづまの透かしなどの紋様を彫る。 実寸大の自分の手の彫刻を行う。 鍛冶工場、自然砥石工場への校外研修を行う。		
到達目標		
自分の手の制作を通じて荒彫り、小作り、仕上げの仕方を学ぶ。 各刃物に応じた砥石の作り方、ノミ、丸刀、三角刀などの研ぎ方を学ぶ。		
授業計画		
4 月～6 月	文様板彫り (台座の彫りの一部)	
5 月下旬	校外研修 (自然砥石、彫刻刀制作)	
6 月～7 月	手 (自分の手) の彫刻	
【テキスト】 仏像彫刻のすすめ		
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90～100 点 優 : 80～ 89 点 良 : 70～ 79 点 可 : 60～ 69 点 不可: 0～ 59 点		

科目名	基礎加工実習Ⅱ（仏像彫刻）	1年後期 実習 225時間（5単位）
担当教員	斎藤澄観 斎藤駿 長洲貴子 高石麻代	
担当教員の 実務 経験歴	数十年の修行と実務経験を経て仏像の制作技術を修得した講師が指導にあたる。刃物の研ぎ方から段階を踏んで各学生が希望する立像・座像が制作できるようになる ところまで指導する。	
授業概要		
各自が好きな観音像、明王像、天部像の仏頭を彫る。		
到達目標		
仏像の種類や違いなど最小限度の知識を得る。 仏像を形作る部位を彫る基本を身につける。		
授業計画		
7月～	モデルとする仏像の選定 仏頭部分の資料収集	
9月～2月	仏頭を彫る	
10月	学園祭に向けた根付など創作小物の彫刻	
【テキスト】 仏像彫刻のすすめ		
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。		
秀	：90～100点	
優	：80～ 89点	
良	：70～ 79点	
可	：60～ 69点	
不可	： 0～ 59点	

科目名	基礎加工実習 I (木彫刻)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)		
担当教員	渡邊宗男 山本孝子 田尾仁美 下田修寛 加悦徹 栗田亮司 高石麻代			
担当教員の実務 経験歴	講師陣は、弟子入り後十数年の修行期間を経て彫刻の技術を磨いてきている。 京都仏匠会理事、彫刻会社勤務等。国内の寺社・欄間の彫刻経験多数。			
授業概要				
のみ柄付け、のみ研ぎにより刃物の特性を知る。 簡単な模様の地紋彫りを行う。木と刃物の扱いに慣れる。 唐草彫刻に取り組む。				
到達目標				
のみ柄付け、のみ研ぎにより刃物の特性を理解する。模様つながりを考えて奥行きを出すことや、 やや高度なノミ使いができるようになる。				
授業計画				
	造形基礎	のみ柄付 のみ研ぎ	模样板彫り	唐草 転写、ミシン挽き、彫り
4 月				
5 月				
6 月				
7 月				
8 月				
9 月				
【テキスト】				
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100点 優 : 80~ 89点 良 : 70~ 79点 可 : 60~ 69点 不可: 0~ 59点				

科目名	基礎加工実習Ⅱ（木彫刻）	1年後期 実習 225時間（5単位）	
担当教員	渡邊宗男 山本孝子 田尾仁美 下田修寛 加悦徹 栗田亮司 高石麻代		
担当教員の実務 経験歴	講師陣は、弟子入り後十数年の修行期間を経て彫刻の技術を磨いてきている。 京都仏匠会理事、彫刻会社勤務等。国内の寺社・欄間の彫刻経験多数。		
授業概要			
造形の基礎を養う。 唐草、宝相華を彫刻する。			
到達目標			
透かし彫りの技法を身につける。 彩色のしやすさなど、次の工程にも配慮した造形技術を身につける。			
授業計画			
	造形基礎	唐草 転写、ミシン挽き、彫り	宝相華 転写、ミシン挽き、彫り
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
【テキスト】			
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。 秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：0～59点			

科目名	基礎加工実習 I (蒔絵)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)					
担当教員	畦地秀樹 中川寧子 平城繁雄 大林愛 藤林崇晃 太田知良						
担当教員の実務 経験歴	弟子入り修行後独立、家業従事者など。数年～30 年以上の経験者まで。						
授業概要							
ヘラなどの道具作り、刃物研ぎをする。 手板、乾漆などそれぞれに合った下地工程の施しかたを学習する。							
到達目標							
道具の扱いの基礎を身につける。 平物、丸物の下地技術の基礎を身につける。							
授業計画							
	道具作り ヘラ・砥石・ 刀など	パネル (高台寺蒔絵)	パネル (青貝)	コーティング ボード (蒔絵線描き)	コーティング ボード (基礎の蒔絵)	乾漆(胎乾) オブジェ	乾漆(脱乾) 皿または鉢
4 月							
5 月				中途	中途	図案	図案
6 月	校外研修(炭焼き)						
		下地	下地	上塗 呂	上塗 呂	成形	
7 月						下地	成形
8 月							
9 月							
【テキスト】							
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90～100 点 優 : 80～ 89 点 良 : 70～ 79 点 可 : 60～ 69 点 不可 : 0～ 59 点							

科目名	基礎加工実習Ⅱ（蒔絵）	1年後期 実習 225時間（5単位）					
担当教員	畦地秀樹 中川寧子 平城繁雄 大林愛 藤林崇晃 太田知良						
担当教員の実務経験歴	弟子入り修行後独立、家業従事者など。数年～30年以上の経験者まで。						
授業概要							
基礎加工技術実習Ⅰで制作した作品に塗り、呂色仕上げを施す。 伝統文様を用いて線描き、磨きまでの工程を練習する。							
到達目標							
塗り、呂色仕上げが一応の水準に達している。 文様の線描き、磨きが一応の水準に達している。							
授業計画							
	道具作り へら・砥石・ 刀など	パネル (高台寺蒔絵)	パネル (青貝)	コーティング ボード (蒔絵線描き)	コーティング ボード (基礎の蒔絵)	乾漆(胎乾) オブジェ	乾漆(脱乾) 皿または鉢
10月		中塗	松葉祭				
11月		図案 上塗			蒔絵の基礎		下地
12月			図案				
1月		呂色					
2月							
3月							
【テキスト】							
【評価方法・基準】 出席（40％） 課題（40％） 授業態度（20％）とする。 秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：0～59点							

科目名	基礎加工実習 I (木工芸)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)
担当教員	村山明 森久登志 荘司晶 小林達也 松本高次 佐伯崇広 脇坂雅子 住谷考蔵	
担当教員の実務 経験歴	木箱製造所、工房、工芸作家師事等を経て独立。京都木工芸協同組合専務理事、工房経営、作家活動を行う者らが講師にあたる。	
授業概要		
基礎課題を課し、段階的に取り組む。 額縁制作、三方留などの仕口加工を行う。 留形隠蟻組を用いた小箱の制作を行う。		
到達目標		
鉋の仕込み、刃物研ぎなど道具の仕立ての基礎を身につける。 あられ組・蟻組の加工方法を身につける。		
授業計画		
4 月	刃物研ぎ 基礎課題 1 治具 木口台 (直角) 基礎課題 2 技法 銘々皿×6 枚	
5 月	基礎課題 3 治具 下端定規 基礎課題 4 技法 板組 (2 種・箱組)	
6 月	基礎課題 5 治具 留木口台 (4 5 度) 基礎課題 6 技法 額縁×2 個	
7 月	基礎課題 7 技法留型隠し蟻組練習	
9 月	基礎課題 8 箱物 小箱	
【テキスト】 木工工作法		
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100 点 優 : 80~ 89 点 良 : 70~ 79 点 可 : 60~ 69 点 不可 : 0~ 59 点		

科目名	基礎加工実習Ⅱ（木工芸）	1年後期 実習 225時間（5単位）
担当教員	村山明 森久登志 荘司晶 小林達也 松本高次 佐伯崇広 脇坂雅子 住谷考蔵	
担当教員の実務 経験歴	木箱製造所、工房、工芸作家師事等を経て独立。京都木工芸協同組合専務理事、工房経営、作家活動を行う者らが講師にあたる。	
授業概要		
桐箱・甲盛蓋箱等伝統的な京指物の特徴を持つ作品を制作する。 二段小抽斗を制作する。		
到達目標		
木工品製作の基礎的な技術を身につける。		
授業計画		
9月	基礎課題8	箱物 小箱
10月	基礎課題9	箱物 甲盛蓋箱
	基礎課題10	技法 面腰練習
	基礎課題12	箱物 桐箱
11月～1月	基礎課題11	箱物 小箆筥
【テキスト】 木工工作法		
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。		
秀 : 90～100点		
優 : 80～ 89点		
良 : 70～ 79点		
可 : 60～ 69点		
不可: 0～ 59点		

科目名	基礎加工実習 I (金属工芸)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)	
担当教員	中村佳永 中村光男 奥村明 小山田玲香		
担当教員の実務 経験歴	宝石会社・工房勤務後独立、家業従事者など。		
授業概要			
切削・鋳造・鍛造各作業につき、段階を踏んで進めていく。 指輪、筆筒を制作する。			
到達目標			
切削・鋳造・鍛造が一応の水準に達している。			
授業計画			
	金属加工基礎 (切削・鋳造・鍛造)	金属加工応用 (指輪製作基礎)	金属加工造形 (花入れ)
4 月			
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
【テキスト】			
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100点 優 : 80~ 89点 良 : 70~ 79点 可 : 60~ 69点 不可: 0~ 59点			

科目名	基礎加工実習Ⅱ（金属工芸）	1年後期 実習 225時間（5単位）	
担当教員	中村佳永 中村光男 奥村明 小山田玲香		
担当教員の実務 経験歴	宝石会社・工房勤務後独立、家業従事者など。		
授業概要			
複数の部品を制作し、「組み合わせる」ことを練習する。 彫金彫りの課題では必須工具である「鑿」の制作から始める。			
到達目標			
基礎知識・技術の延長線上に総合課題が位置することを理解する。			
授業計画			
	金属加工造形 （花入れ）	金属加工造形 （筒蓋物）	彫金基礎 （鑿制作・線彫り・他）
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
<p>【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。</p> <p>秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：0～59点</p>			

科目名	基礎加工実習 I (漆工芸)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)					
担当教員	大家忠弘 古今祥之 狭間實 兼松俊明 番浦肇 萩原佳奈 大成竜司						
担当教員の実務 経験歴	家業従事、漆工房就職後独立など。伝統工芸士認定。漆器制作に長年携わり知識、 経験が豊富。後進への指導経験も豊富。						
授業概要							
漆塗、加飾、スケッチの基礎を身につける。 松葉祭展示作品を制作する。							
到達目標							
刀、へら、ハケ作りが一応の水準に達している。 手許箱、丸盆を下地塗する。 蒔絵手板 5 枚、松葉祭展示作品を蒔絵加飾する。							
授業計画							
	漆塗				加飾		基礎技術 (スケッチ)
	道具作り (刀・へ ら・ハケ)	手板 2 枚 (手許箱・ 真塗・溜塗)	手許箱(一 閑・布目)	丸盆 (呂 色・布目)	蒔絵手板 5 枚(線描 練習、平、 高、薄貝)	4 号パネ ル (松葉祭 展示作品)	
4 月							
5 月							
6 月		下地	下地	下地	呂色塗	呂色塗	
7 月							
8 月						図案作成	
9 月		中塗				加飾 (蒔 絵・螺鈿)	
京の伝統八技法・摺漆・石地塗の講義・筆記試験を期末に行う。							
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100点 優 : 80~ 89点 良 : 70~ 79点 可 : 60~ 69点 不可: 0~ 59点							

科目名	基礎加工実習Ⅱ（漆工芸）	1年後期 実習 225時間（5単位）					
担当教員	大家忠弘 古今祥之 狭間實 兼松俊明 番浦肇 萩原佳奈 大成竜司						
担当教員の実務 経験歴	家業従事、漆工房就職後独立など。伝統工芸士認定。漆器制作に長年携わり知識、 経験が豊富。後進への指導経験も豊富。						
授業概要							
手板、手許箱、丸盆に中塗、上塗する。 蒔絵手板、松葉祭展示作品に加飾する。 対象物をスケッチする。							
到達目標							
中塗、上塗について一応の水準に達している。 加飾が一応の水準に達している。 対象物を的確にとらえてスケッチできる。							
授業計画							
	漆塗				加飾		基礎技術 (スケッチ)
	道具作り (刀・ヘ ラ・ハケ)	手板2枚 (手許箱・ 真塗・溜塗)	手許箱(一 閑・布目)	丸盆(呂 色・布目)	蒔絵手板 5枚(線描 練習、平、 高、薄貝)	4号パネ ル(松葉祭 展示作品)	
9月		中塗			線描	加飾(蒔 絵・螺鈿)	
10月		上塗	中塗	中塗	平蒔絵 高蒔絵		
11月			上塗	上塗	薄貝		
12月							
1月							
2月							
京の伝統八技法・摺漆・石地塗の講義 ※期末筆記試験							
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。 秀 : 90～100点 優 : 80～ 89点 良 : 70～ 79点 可 : 60～ 69点 不可: 0～ 59点							

科目名	基礎加工実習 I (竹工芸)	1 年前期 実習 225 時間 (5 単位)									
当教員	石田正一 黒田宗傳 細垣礼子 中川裕章 三島一郎 井上定信 大塚康仁 小嶋匠										
担当教員の実務 経験歴	家業、竹材店勤務、クラフト展入賞者、竹工芸品協同組合副理事長・現代の名工等。 竹業界に長年従事。竹の扱いについて十分な経験と知識をもつ。										
授業概要											
竹ヒゴを六ツ目編み・四ツ目編みなどの技法を用いて制作する。 枝折戸を制作する。竹のタメ加工を行う。											
到達目標											
道具の使い方・砥ぎ方等、竹の加工に必要な基礎的な技術を身につける。											
授業計画											
	生体・ 道具	六ツ目 編	切る・ 割る	四ツ目 編	柁割	二重六 ツ目	組み方	麻編	道具作 りと矯 正	網代編	垂撥・ 花台
4 月											
5 月											
6 月											
7 月											
8 月											
9 月											
全期を通して事前に材料づくりを行う。											
【テキスト】 竹編組模式図集六ツ目編											
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100 点 優 : 80~ 89 点 良 : 70~ 79 点 可 : 60~ 69 点 不可: 0~ 59 点											

科目名	基礎加工実習Ⅱ（竹工芸）	1年後期 実習 225時間（5単位）					
担当教員	石田正一 黒田宗傳 細垣礼子 中川裕章 三島一郎 井上定信 大塚康仁 小嶋匠						
担当教員の実務 経験歴	家業、竹材店勤務、クラフト展入賞者、竹工芸品協同組合副理事長・現代の名工等。 竹業界に長年従事。竹の扱いについて十分な経験と知識をもつ。						
授業概要							
二重六ツ目・麻編・網代編による編組加工を繰り返す。 垂撥・花台・花器を丸竹加工により制作する。							
到達目標							
二重六ツ目・麻編・網代編等の編組加工ができる。 丸竹を加工して垂撥・花台・花器などが制作できる。							
授業計画							
	網代編	垂撥・花台	くもの巣 編	花筒	鉄線編	編み方②	創作
10月							
11月							
12月							
1月							
2月							
3月							
【テキスト】竹編組模式図集六ツ目編							
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。 秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：0～59点							

科目名	基礎加工実習 I (和紙工芸)		1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)				
担当教員	林伸次 畑野渡 望月めぐみ 近藤大地 茂庭弓子						
担当教員の実務 経験歴	工房勤務、和紙組合研修を経て独立。作家活動など。組合理事経験者など後進の指導経験もある。						
授業概要							
紙素を作る。 封筒・紙衣原紙を制作する。							
到達目標							
製紙工程で用いられる用具の素材や用途について理解する。 流し漉き技法、溜漉き技法を身につける。 紙の厚みの合わせ方を身につける。							
授業計画							
	オリエン テーショ ン	紙漉き A (和帖本 紙)	紙漉き B (封筒用 紙等)	紙漉き C (雲龍紙 染紙)	紙漉き D (強成 紙)	紙漉き E (チリ 紙)	紙漉き F (卒業証 書)
4 月							
5 月		流し漉き					
6 月			溜め漉き				
7 月							
8 月							
9 月							
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100点 優 : 80~ 89点 良 : 70~ 79点 可 : 60~ 69点 不可 : 0~ 59点							

科目名	基礎加工実習Ⅱ（和紙工芸）	1年後期 実習 225時間（5単位）					
担当教員	林伸次 畑野渡 望月めぐみ 近藤大地 茂庭弓子						
担当教員の実務経験歴	工房勤務、和紙組合研修を経て独立。作家活動など。組合理事経験者など後進の指導経験もある。						
授業概要							
通常より大きい道具の使い方、力の使い方を繰り返す。 様々な紙を漉き、和紙加工の基本作業を繰り返す。							
到達目標							
紙漉きの基本となる動作を身につける。 様々な種類の紙漉きを行うことができる。							
授業計画							
	オリエンテーション	紙漉きA (和帖本紙)	紙漉きB (封筒用紙等)	紙漉きC (雲龍紙染紙)	紙漉きD (強成紙)	紙漉きE (チリ紙)	紙漉きF (卒業証書)
9月							
10月							
11月							
12月							椿刈り
1月							
2月							
【テキスト】							
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。 秀：90～100点 優：80～89点 良：70～79点 可：60～69点 不可：0～59点							

科目名	基礎加工実習 I (京手描友禅)	1 年前期 実習 2 2 5 時間 (5 単位)		
担当教員	荒木泰博 木戸源生 橋爪良和 駒井達夫 福本義孝 森光男 志賀豊 吉住泰造 諸頭勝 有本栄伍 市川完一			
担当教員の実務経験歴	家業従事、会社勤務・弟子入り後独立等。伝統工芸士認定、京の名工、瑞宝単光賞受賞者など友禅について豊富な知識と経験をもつ。京都手描友禅協同組合理事長、日本染織作家協会常務理事経験者など後進の指導経験も豊富。			
授業概要				
帯の下絵を行う。 構想、草稿、下絵と順を追って行っていく。				
到達目標				
対象物のスケッチ及び古典文様から構想、草稿、下絵までができるようになる。 染色の歴史・種類・技法、歴代の模様の特長・図柄を理解する。				
授業計画				
	下絵	糊置	引染・蒸し	図案の構想 草稿 下絵・・・どのような柄のきものをつくるか考えられた図案をもとにして、白い生地の上に青花という特殊な色素を使って下地を描く
4 月				
5 月				
6 月				
7 月				
8 月				
9 月				
【テキスト】				
【評価方法・基準】 出席 (40%) 課題 (40%) 授業態度 (20%) とする。 秀 : 90~100点 優 : 80~ 89点 良 : 70~ 79点 可 : 60~ 69点 不可: 0~ 59点				

科目名	基礎加工実習Ⅱ（京手描友禅）	1年後期 実習 225時間（5単位）		
担当教員	荒木泰博 木戸源生 橋爪良和 駒井達夫 福本義孝 森光男 志賀豊 吉住泰造 諸頭勝 有本栄伍 市川完一			
担当教員の実務経験歴	家業従事、会社勤務・弟子入り後独立等。伝統工芸士認定、京の名工、瑞宝単光賞受賞者など友禅について豊富な知識と経験をもつ。京都手描友禅協同組合理事長、日本染織作家協会常務理事経験者など後進の指導経験も豊富。			
授業概要				
糊置を中心とした実習を行う。糊置の細置糊、伏置糊を行う。				
到達目標				
細置糊、伏置糊が一応の水準に達していること。 染織の歴史・種類・技法、歴代の模様の特長・図柄について理解している。				
授業計画				
	糊置	引染・蒸し	挿友禅	≒下絵の細かい輪かく線（糸目）の上にゴム糊を置いていく。糊はとなりあった色がまじらないよう、防波堤の役目を果たす。 ≒引染工場、染織会社での工房実習を行う ≒配色を検討する・色合わせをする
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
【テキスト】				
【評価方法・基準】 出席（40%） 課題（40%） 授業態度（20%）とする。				
秀 : 90～100点				
優 : 80～ 89点				
良 : 70～ 79点				
可 : 60～ 69点				
不可 : 0～ 59点				

